

夕刊 日二十月五

常磐毎日新聞

定価一冊五銭 一月五拾五銭 三月一拾五銭 半年二拾五銭 一年四拾五銭
 発行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社



平小唄の疑惑 [F]

及び其措置に就いて

△ 生 投

一体、民謡たるものは一人の意識によつて作られるべきものではなく、民族間の長い習俗、並びに人情の發露と自然の寂に溶合し詩情が、歌となり音楽となりて、或は小鳥の聲にも涙する多感の雰圍氣が、誰知らず自然の温床として人より人へ。里より里へ郷土里謡として流れ出るのである。——其處に民謡の類似性がある。

だが、民謡の城廓に隠れ辨ずるも、一人の意欲、思索によつて代表され、發表されたものとするならば其歌詞に對しての責任は當然まぬかれるは出来ぬであらうし、作者をして若しもの無責任な行動をあい取る如き場合は郷土を冒瀆するも餘りあるもので、排撃すべきは論するまでもないと僕は確信する。

而して僕は、相馬氏には誠に失禮極まる仮想のものに立脚して、氏がかゝる行動を是認したとするならば我郷土樂園を蹂躪する暴徒として、良心的人道に許すべからざる信じ、平教育

會並に故嚴谷小波の靈を冒瀆するものとして張然と一片の宥恕にも値しぬであらう——だが、靜思すると其の非が當方でありとせば平教育會として、相馬氏に對し地に伏して恥じ、何の言葉も以て此にまみへようぞ。

その策とは——酷似歌節の改作にあるの必要を痛感すると共に、郷土に於ける詩人をして、この改作にあたらせることは、さ程の難澁な業でもあるまい。僕は讀者の輿論を喚起し、敢て進言せんとする。

- 明日の献立
- 朝味噌汁—玉葱 小付
- 書—うどん玉子とち 小
- 皿—福神漬
- 晩串—さしやき 豚肉と葱 清汁—あられ豆

もしこれをし、歌詞補正の任に當らせられた故嚴谷小波氏に知らしめ得ば、地下にて冷汗三斛の想ひにいたく苦笑して居るであらう。

僕は餘りに感性的に捕れ矯激の文字を弄したらしいは有るが、何も兩者の黒白を白日の下に漂し、徒に中傷せんとする者でも決してなく、止むに止まれぬ愛郷

の至情に外ならない。だから、教育會としては野人に等しき、僕などの鋒先を向けられるが如き屈辱的不満な地位を最後まで執着すべきでなく、行きかゝりや、現實に對する穿鑿的態度をすて、互に傷が如き行動があつてはならないし、其を未然に防ぐと共に『平小唄』に疑点を持つ者の暗影を消滅せんとするは急務であり、當を得た賢明な策であらうと思考するものだ。

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木 正男
 平町田町 (電話五八番)
 藤田女學校前

炊のお需めに應ず
 入院の便あり

春の...

レンコート
 春のオーバ
 春のセビロ

御用命を！

平町 正 札堂 洋服店
 電話四三番

是非！

御融通には御用命下さい
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店

平・四電六〇六番

外科 一般
 内臓科
 花柳病科
 肛門病科
 レントゲン科
 物理療法科

イツデモ入院
 出来マス 電話四六四番

北川外科

平町新川町二七
 醫學博士 北川芳夫
 醫學士 奧義弘
 醫師 小林良次

光の春を駆て！

皆様旅のガイド
 不二の車は待つ

タクシー不二

未知ノドライブコース
 オ問合せドサイ

電話 32番

石炭

平驛前

ア部石炭店

電話三十七番

皆様の足？

ニ子タクシーへも豆タクが入りました

御支關から支關へ 迅速簡便
 是非御利用を

市内 三〇錢
 市外 四割引

流線型セダン
 大型貸切バス

宮行—直通は二丁目ニ子自動車部より發車いたします

平町二丁目
 電話 六四〇番

吉田眼科醫院

平紺屋町 電話六八番

醫學士 吉田久雄

新緑の候ともなれば

平町モダン風景

丹後澤湖畔に浮ぶ

アヴェエックの貨ボート

水戀

愈々初夏の訪れとなつた昨今の平地方は清新の緑樹の零園氣に誘はれて新緑の松ヶ岡公園や新川畔は涼々追ふ人達で賑つてゐるが、街頭に見る単衣姿と金魚買りのカケ聲に初夏風景は日増に濃度を増し昨日は本年に入つて最初の廿六度五分といふ高温に冬寒波の襲來に寒さをかこつて來たのが今度は暑さにうだつて悲鳴をあげる始末、最近五ヶ年間平均温度十九度を遙かに突破すること七度五分といふ超高温度振り、平地方唯一の遊

夏來るの陽氣

半年より七度以上高い

農家愁眉を開く

平地方の陽氣は昨十一日神谷農試分場の調査では二十六度五分と云ふ夏來るの高温度を示し最近五ヶ年間の平均温度十九度より七度五分も高いので二年連続の冷害と今冬五十年來の大害に遭つて降霜被害を恐れて居た農家も今年は大丈夫だと愁眉を開いて居る

平驛客車増結 平驛は常磐線の旅客増加の爲め明十三日平一水戸間に客車八輛を増結する

保護者役員會 平町小學校保護者會の理事會は今日十二日午前十時から第一校に、同評議員會は午後一時から第二校に開き來る十

五日の總會に談るべき協議事項に就いて種々に打合せた

磐中生通學狀況

親の膝下から最も多い

磐中では此程在校生千五百五十名の通學狀況を調査したがこれに依ると徒歩五六三名、汽車四九四名、自動車二四名、自轉車六九名で通學別

白米値上

共販米の高値で

値上を断行した

平穀物検査所管内の米價は商人の手持米不足から販賣毎に高値を呼んでゐるがこれは從來農家が自宅で取引するペラ賣りよりも値段の良い各農倉の共同販賣に續々出荷する爲め商人は共販米を買受けただけでは品不足となり市場の活況も手傳つての結果で、相場は當分高値を持続する模様のため平米穀小賣商組合では去る十日上白一キロに付二十三錢五厘、中白二十三錢、並二十二錢五厘、五厘づゝの

産業役員

けふ出發

既報石城産業組合部會の木田氏が引率する視察團小名濱組合長小松清三、好間組合事務長成伊佐吉、植田組合主事辻文喜の諸氏一行は本十二日午前七時半平驛發列車で千葉・東京・横濱方面に出發したが十五日夜歸郡すると

二萬圓を海中に

小名濱港の築堤工事

明日ケーソンを沈む

小名濱商港築堤工事延長百間の基礎工事としての最後のケーソン沈下は明十三日行はれるか同ケーソンは長さ十一間、幅五間、價格二萬圓で同箇塊沈下に依り防波堤工事は愈々進捗を見ることがなつた

福島貯蓄支店長

福島貯蓄銀行平支店長吉田鎮政氏は此程行員の異動で本店詰となつたが後任は本社計算課主任安齋護氏が來任した

森山君新記録

炭礦競技部員森山東吾君は去る十日弘前陸上競技協會主催第三回北日本陸上競技大會兼オリムピック與羽地方豫選棒高跳に出場、三米五〇の大會新記録を出し一等を獲得した

小川橋が進捗

郷驛前小川橋は去月未より工費一萬五千圓で架橋工事中であるが工事進捗目覺ましく豫定より竣功が早くなる見込である

植田武道大會

會植田分會主催第十一回武道大會は來る十七日午前八時同小學校に開かれる

示した
磐 女 24 30 第一
磐 女 22 10 第二

愛婦平分會

新會員募集

近頃總會を開く愛國婦人會中分會は去る九日幹事會を開いた結果六月中旬頃分會總會開催を決定總會開催を期として新に寄附者三十名、特別會員百名通常會員百名を募集することになつた又現左の有功章會員の昇格をも決議した

北川外科

平町新川町
醫學博士北川芳夫
電話四六四

看護婦急派

求めに應じます

平看護婦會

平町南町
電話三〇七

木村病院

平町新川町十九
電話一六四番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町南町 電話五二二三番

齒科口腔外科

レントゲン科

院長 醫學士 原 精一
電話三一三番

原齒科醫院

悪二百退治

街のダニを一掃

平署取締徹底を期す

平署では既報の如く去月初から實施された法律事務取扱の取締りに關する法律に對し新たに悪二百連のブローカー行爲取締に徹底的に乗り出すことになり先づ法律の内容を一般に知らせるため縣刑罰課と呼應して近く管内に配付する外、適宜な集合等を利用して新法趣旨徹底に努め街のダニ一掃を圖ることになつた

勿來の關

登山道拓く

遊覽客で賑ふ

勿來町では外遊客誘致策として勿來關の登山道開修工事を待つてゐたが愈々竣功折柄の初夏絶好の散策ゾーンに伴ひ毎日遊歩客の數を増して地元民も嬉ばれてゐる

二荒伯爵を待つ

平少年團の訓練

二葉伯爵を迎へ結團披露式を舉行する平少年團にては當日査閲を受くべき前準備として左記の如く健兒の訓練を行ひ健兒道の實踐に努める由

十三日放課後 十六日同
十七日午前中 廿日放課後
廿四日午前中 卅日放課後
卅一日午前中
六月三日放課後 五日同
六日同

大字昇格披露

海岸地一萬坪の埋立に依り大字に昇格した江名町大字折戸の昇格披露會は十日同字鎮座村社祭禮と相俟つて同

小名濱に

圖書館を

年内に設置

小名濱小學校に此程豫算三千圓を投じ公立圖書館を設署する事になり目下西山校長外委員五名が寄附募集中であるが年内には實現する模様である

平商旅行出發

平商の關西方面修學旅行團五年

兩親に死別した

薄命の幼兒

無心で遊戯中を

トラツクに轢かれて絶命

小名濱町字中坪九竹中フセ方同居人神田有(七)さんは昨十一日午後四時半頃自宅附近の同町下明神町地内縣道で遊戯中前方より松材を満載して疾走し來た田入村大字黒田字一ノ倉自動車業緑川良義方運轉手安積郡木幡村生高規清吉(七)の運轉するトラツクに轢き倒され頭蓋骨を骨折、間もなく死亡した、有君は東京市王子區神谷町二丁目一〇五區に居住中兩親に死別、祖母のフセさん方に引取られてゐるうちこの奇禍に厄つたものである

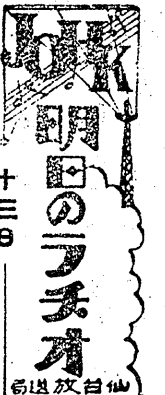
郡醫師會の

新役員決定

三元老を顧問

清水會長の許に新陣容

石城郡醫師會は此程總會を開き役員改選の結果郡内刀圭界の元老と目する市原卯太郎、酒井國三郎、額賀襄司、實川彌太郎、木村淳



今夜は南の風 曇り明日は南東の風 曇後雨

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
齊唱 盛岡市仁王校兒童
後六、二五 青年の時間
「敬慕すべき白河樂翁公」
白石正邦
後七、三〇 講演「吾等が郷土岩手を語る」石黒岩手縣知事

明日の部

後八、〇〇 俚諺 新潟縣
六日町連中他
後八、二〇 歌曲「春の曲」
横田伊久井他
後八、四〇 管絃樂 盛岡
スモールオーケストラ
後八、五〇 長唄 新曲
「酒」都多丸他
後九、〇〇 俚諺 下田中勇他

反對起る

敷地で行惱む

錦村では昨年昭和八人絹工場建設と共に隔離病舎は取りこぼしたまゝになつてゐたのでこの程の村會で同村大倉地内鮫川沿岸に敷地を決定したが果然同部落民から猛烈な反對運動が起つたので行き悩んでゐる

平商父兄

校舎資金

募集に援助

平商父兄會は来る二十四日總會を開き商友會の母校新築速進運動に關聯する一萬圓寄附募集の援助方に就いて種々協議する

裁判所だより

△平町大町一ノ自動車運轉手小峰富夫(三)は昨年十一月八日平窪村大蓋地内トラツク運轉中支餘の斷崖から墜落同乗者佐川辰次郎、猪狩清十郎の兩氏に對し各全治二十日間を要する顔面及び前額部裂傷を與へ業務上過失傷害罪として今十二日香西判事から略式罰金四十圓に處された

平職業紹介所報告

△農夫二〇 五〇才迄 給十圓
△職を求める方
△鐵工業 廿二才 高卒

後九、三〇 時報 氣象通
明日の話 氣象通
報 番組報告
明日の部
前六、三〇 英語講座 佐竹直重
前七、〇〇 朝の修養「參同契」加藤咄堂
前九、〇〇 家庭メモ
「醫者の來るまで」橋本寛敏
後〇、〇五 和洋合奏 松竹大船樂團
後二、〇〇 婦人の時間
「自殺の社會」學赤神良讓

後二、四〇 小學生高等科の時間「天氣圖の見方」荒川秀俊
後三、一〇 教師の時間 讀本朗讀 馬淵冷佑
後六、〇〇 偉人物語「江川太郎左右衛門」東京放送児童研究會
後六、二五 基礎英語講座 鹽谷榮
後七、三〇 講演と實驗「聴診器で何を聴くか」大阪帝大醫學部より中繼
後八、〇〇 チェロ獨奏 フォイヤーマン
後八、三〇 舞臺劇「荒神山」大阪浪花座中繼
△トラツク助手 廿四才
高卒
△事務員 十九才 中卒

宗正らひた

國旗
提燈
山崎合名會社
電話一〇番

縛る瓦解の設分

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(書)



一一八 青木と同心

青木彌太郎は根津宮永町の西東三のもとに潜伏した前にも申し通り西東三は新徴組の一人ですが、これもまた放蕩無頼、江戸市中をあらしまはつたものと七月のこと青木は西を相手に酒を飲み何時になく大酔して蒲座を敷いてそれに藤枕をしてねた、庭の青桐を渡つて来る風は氷のやうに涼しい、あゝ快い心持だとうとくしてゐたうちにグツツと寝入つた。

これは午後の三時頃でした。するとドカ／＼といふおそろしい物音、何事かと彌太郎が身をおこした途端に御用だ神妙にしるとこの座敷に踏み込んだのは甘人あまりの岡ツ引、それを見ると彌太郎はふところに呑んでゐた短刀をストラツと引き抜き、何をすゝこ奴等とハツタと睨んだ、この勢ひにおどろいてバラ／＼と逃げたが、西東三はしばらくして岡ツ引は繩尻を取つてゐる、東三は熟睡してゐるところを押へられた、青木は岡ツ引を見て彌「貴様たちはえらいな、ほかの者は逃げ居つたが

様たちは一歩もそこを退かぬはえらい、ほめてやるぞ

○「へエー、私共は御用で出張をした者でございます、白刃が怖いといつて逃げては御用がつかまりません」彌「さうか、役目を大切にすれば感心だ、して何がためにこれへ踏み込んだ」



○「その事は且那衆にお聞きなすつて下さいませ、私共は且那衆の申付つてこゝへ踏み込んだものでございませう」彌「且那衆と申は與力同心であらうが、そやつらは何れに居る」○「谷中の三河屋につめて

おいでになります」彌「それではそこへ案内しろ」○「へえ長まりました」

この時に青木は西東三にむかひ彌「おれはこれから與力同心の控へ居るところへ参る次第になるとおれは繩にかゝつて奉行所におくられるであらうと、おれは貴公だかな、逃げやうと思ふならばその繩を解いてやる、それとも俺と一緒に行くか」

西「どちらへられたは拙者の不覺、この場に至つて逃げろなどは卑怯なことだ」彌「立派な住居だな、ヤイ岡ツ引この内に不淨役人はゐるか」

とて先方に参ればまたはせられる、このまゝで出かけるよ」彌「さすがに貴様も新徴組屈指のあはれ者としてその行動はいささしい、ではそのまゝで出かける、これ岡ツ引案内しろ」

○「へエ、承知いたしました」西を引き立てる、彌太郎は衣類を着なほし大小もさゝすたゞ一口護身のためにふとこに入れたまゝこの岡ツ引の案内で谷中三河屋儀兵衛といふ名主のもとに來た

彌「不淨役人と申しますとどんなものでございませうか」彌「與力や同心は年中罪人を扱つ居る、それでこれを不淨役人といふ、そやつらはこゝに居るか」○「へえお在でございます」彌「俺をつれて來たことをいへ」

彌「それでは逃げかぬ」西「貴公と一緒に行く」彌「然らば同道するがよい然し先方に行くまゝ樂をさせてやる」彌「彌太郎は繩を解かうとすると西が西「イヤ、このまゝでよろしい、こゝで繩をとかれた

誰も出て來ない、面倒だと青木はつか／＼と玄關から奥の座敷へ踏み込むと與力同心が大人居た彌「俺は青木彌太郎だ、何の用があつて岡ツ引を寄來

した、それをいへ」と一喝されて與力に同心も吃驚した。

| | | |
|----|---|----|
| 店主 | が | 店員 |
| を | 連 | れて |
| か | れ | る |
| 正 | シ | イ |
| 正 | シ | イ |
| 正 | シ | イ |
| 酒 | 場 | |

平・田町
レストサロン
電三五二番

吸入用酸素素純度 99%

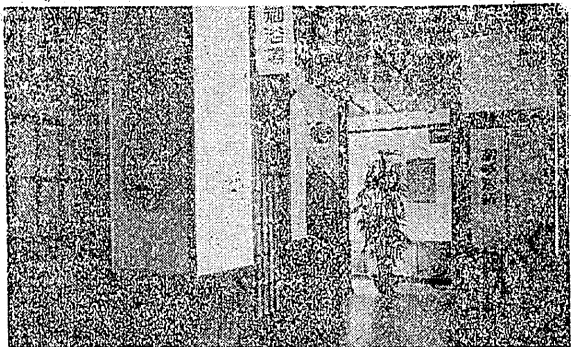
度量衡
モノサシ
マ
ス
ハカリ

器量計
体温計
寒暖計

關内藥局

寫真材料一式販賣致シマス

電話四〇番



小龍へ!!

◆宿泊料 1.50 2.00 2.50
(御滞在は左記料金にて中食料をふくませます)

◆日歸浴席料 .20

◆自炊料 .50-.80 (入場料・室料夜具料一切)

◆料理一定食 .80 1.00 1.50 (その他一品料理洋食)

◆湯 効 神経痛、リウマチス、胃腸病、痔疾、婦人病、逆上、中風、肥胖病 (内務省東京衛生試験所検定済)

◆諸 備 撞球臺、高級ラヂオ、大廣間、讀書室、近代式浴場と洗面所、水部、洗式便所、小動物園、タクシ

◆名物 川魚料理(うなぎ、鯉)蜂蜜羊かん

●女中數名入用●

常磐線湯本驛 小瀧礦泉
御旅館 瀧の湯
御自炊 瀧の湯
電話 (小名瀧) 103番

久全屋商店

磐城セメント會社特約店
磐城平町五丁目 電話九九九

- 良品廉賣に勝る商略なし
- 確實敏捷は久の生命なり

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎文庫
電話六三〇番
(申込次第規則書進呈)